



2022年10月28日

各位

会社名 イチカワ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 牛尾 雅孝
 (コード番号 3513 東証スタンダード)
 問合せ先 総務部長 山崎 敦
 (TEL. 03-3816-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 連結業績予想数値の修正

2023年3月期第2四半期連結累計期間(2022年4月1日~2022年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	6,060	70	120	110	24円03銭
今回修正予想(B)	6,500	330	560	450	98円29銭
増減額(B-A)	440	260	440	340	—
増減率(%)	7.3	371.4	366.7	309.1	—
(ご参考)前年同期実績 (2022年3月期第2四半期)	5,859	218	346	270	59円14銭

2023年3月期通期(2022年4月1日~2023年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	12,600	440	500	320	69円90銭
今回修正予想(B)	13,000	600	1,000	700	152円90銭
増減額(B-A)	400	160	500	380	—
増減率(%)	3.2	36.4	100.0	118.8	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	12,355	531	758	523	114円45銭

2. 修正の理由

当社グループの主要取引先であります紙パルプ業界の動向は、国内につきましては板紙及び衛生用紙等の需要は横ばいで推移しておりますが、新聞用紙及び印刷情報用紙の需要は、コロナウイルス禍以前の水準までは回復に至らず減少傾向が見込まれております。海外につきましては、通販市場の拡大に伴う板紙及び衛生用紙の需要が旺盛な中国・アジア地域に期待があるものの、新聞用紙及び印刷情報用紙は国内と同様に需要の減少傾向が続くなど、不安定な状況が見込まれております。

当第2四半期の業績につきましては、販売力強化、生産性向上等の企業努力に加え、円安ドル高の進行に伴い、コスト増があるものの海外売上高が増加することから、連結売上高、連結営業利益、連結経常利益、連結四半期純利益は前回発表予想を上回る見込みとなりました。

以上によりまして、第2四半期連結累計期間の業績予想を修正するものであります。

通期業績予想数値につきましては、為替レートが当初見込みを上回っていること、及び当第2四半期業績予想の修正に伴い、連結業績予想値を修正するものであります。

※ 上記予想は、本資料の発表日現在における将来の経営環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値とは異なる場合があります。

以 上